

## 日本での交換留学の体験

ダーラナ大学  
セージ

私は交換留学生として、4月から7月までお茶大で勉強しました。現代日本の文学について論文の準備のために日本語の授業を取りました。日本に来る時、日本語



力が低かったです。字を読めましたが、聴解が弱くて、日本が話せませんでした。よく自習して、たくさんの交流会に参加して、積極的に日本語の授業を受けて、少しずつ進みました。学期中にあまり観光しませんでした。でも、時間がある時に、アニメや漫画などの

イベントに行きました。モブサイコ100との物語の展示に行きました。本当にいい経験でした。編み物も好きですから、色々な編み物の活動に参加して、たくさんの編み物の友達ができました。6月に、自分でニットイベントを企画して、他の留学生に編み物の方法を紹介しました。参加した留学生に感謝しています。

オランダに帰る時、統計の学生として、大学院に入ります。勉強すると同時に論文を書くつもりです。大変だと思いますが、日本への留学の体験のおかげで、自信が増えて、一生懸命、勉強し続きたいです。

私の日本でのおばあさんとおじいさんに感謝しています。毎月曜日、一緒に話して、食べました。初めてカフェに行く時に、本当に心配しましたが、皆さんの笑顔しか見られませんでした。「わからない」と「もう一度」と聞いた時、いつもゆっくり説明してくれました。私は最後の会のため、「boerenkool」というオランダの食べ物を料理しました。みなさんと写真を撮って、食事を楽しみました。とてもありがたい気持ちでした。

特に、ヒメちゃんに感謝しています。86歳でしたが、よくカフェから大学まで一緒に歩いてくれて、いつもお菓子をくれました。心の温かさと優しさは決して忘れません。

国際課のおかげで、浴衣を着て、歌舞伎を見ることができました。そのことは本当に大切な思い出になりました。本当に感謝しています。寮の管理人はいつも助けてくれたことにも感謝しています。また、加藤先生には漫画に紹介してくれたことに感謝しています。「ハンター×ハンター」を読むことは楽しかったです。他の日本語の先生にも日本語を教えてくれたことに感謝しています。萩原先生の案内のおかげで、とても良い留学生経験となりました。特に困っていた時にすぐに気を付けてくださって、本当にありがとうございます。さらに、相談室の田中さんに感謝しています。自分で出来ない時、田中さんはいつも前向きな見通しを教えて、慰めてくれました。交流会の進行役には、特に西坂先生、チョウさん、バイザと石田さんいつも手伝ってくれたことに感謝しています。最後に、お世話になったアンさんとティナさんにも感謝の気持ちを伝えたいです。寂しいときにいつも奇しくも連絡して、一緒に遊んで、ゲラゲラと笑いました。大切な友達になれてよかったです。ぜひ、イギリスかドイツか、またはオランダでまた会いましょう。

